

家の機械作業を受託する企画です。最近農業機械の大型化が進む中で過剰投資、機械化貧乏についての反省と理解は高いが一方では個人保有への意識も強く潜在しているようです。しかし今ここで機械導入と農外収入追求の悪循環を断ち切らなければ、農家の繁栄はあり得ないと思います。お手元の資料を参考に充分検討されて全員が参加されることを望んでいます。

そうして機械作業の委託から生れる余剰労働をもつて新しく出来た整備田を高度に利用して個別経営を伸ばし農業所得の増加を図ることがこの事業の中心課題であります。既に養豚団地への加入、施設園芸の導入がかなり具体化し、肥牛ブローラーへの取り組みも芽生えようとしています。又露地スイカとキャベツの栽培も増反の意向が現れています。しかし、全般には新しい取り組みや高額投資への不安が伴い慎重な態度が伺えます。これら作目については既に町内に多くの成功事例があり又、普及所を中心に指導体制も整っている

## し尿処理について

### 長門市と事務委託契約

三隅町のし尿処理施設は昭和十五年二月に完成し、一日処理能力三Kℓ(約三千人分)の消化方式で衛生的に処理することは三隅町程度の町では画期的な事で当時としては立派な施設でありました。当時各自自治体とも農地還元、海

の専業志向農家はその指導をうけて、線密な計画の下大胆な取り組みが望まれる処であります。又兼業農家林業等との複合経営農家や中高年層で大規模経営の困難な方についても、この機会を夫々の経営条件にあつた型で発展の方角づけを研究されて全農家が少くとも50万円以上の所得増加を図る個別経営計画の樹立を願いたいと思つています。こうした農業経営の進展に併せて生活環境を整備することが私共めざす農村社会の理想であります。モデル実験事業は、この面も採り上げている。各部落毎の検討会で沢山の意見をいただきまして。更に検討を加えて結論を出したいと考えています。保守的、停滞的と指摘される上地区ですが私共はこの機会に大きく脱皮してお互の創意と連帯感の下快適にして高度な生産力をもつ地域づくり地区二五〇戸の総力を結集し前進したいと思つています。町農協をはじめ汎く町内の皆さんの温かい御指導御支援をお願い致します。

又は新設が必要となつて来た。現在し尿処理施設の技術の進歩により全部酸化方式に変わり、三隅町の処理方式では公害規制値をパスすることが出来ず、昭和四十九年六月応急措置として新しい施設が出来るまで「長門下水処理場」で処理してもらい現在に至つている。この間下水処理場への一日投入量の規制もあり住民の皆様にはいろいろご不便をおかけ致しました。

町単独の新設について種々検討しましたが設置場所、補助率等の

問題もあり、又県の広域化処理の指導もあつて、長門市との広域処理の線で協議を重ねてきた結果、昨年の十二月双方の議会に於て「長門市と三隅町との間のし尿処理の事務委託に関する規約」が承認され、昭和五十二年一月一日より発効して今後は三隅町のし尿は長門下水処理場において処理されることになりました。

工場用地として埋立したことにより、遊水池がせまくなり、大雨、高潮などの際、住宅浸水のおそれがあり、かねてより、地元住民の方より強い要望のありました浅田、沢江地区排水路改良工事が完成しました。

工事の概要は次のとおりであります。

○施工した施設

① 山本開作東側排水路 延長 二四三、六米

巾 一、八米 深さ一、八米

② 沢江部落内排水路 延長 一五三、四米

巾 〇、八米 深さ〇、五米

③ 山本開作西側遊水池排水ポンプ場及び水門

ポンプ 口径二五〇ミリ

排水能力 毎分九立米

2台

ポンプ場 三七、一平米

水門(スライドゲート)

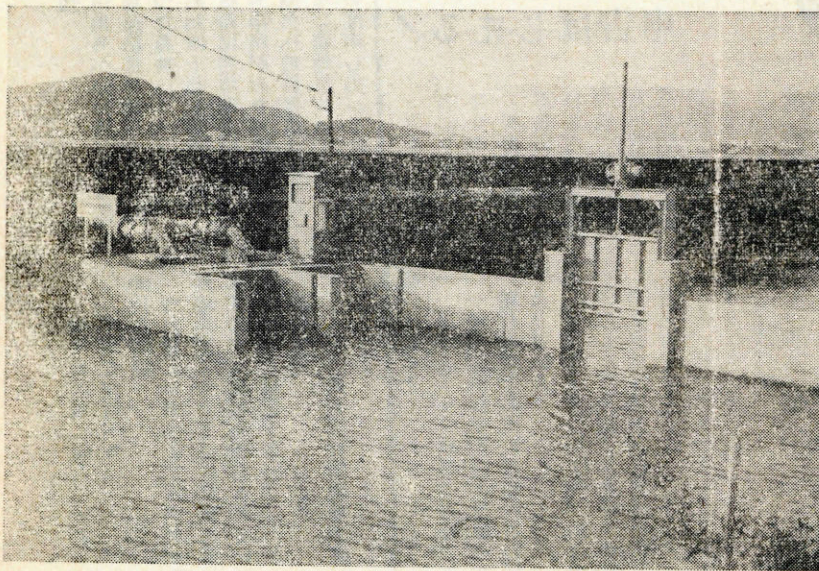
巾 一、八米

高さ一、四米 一門

○総事業費 三一、五一五千元、うち、工業再配置促進補助金(国庫) 二四、二二五千元 (経済課)

(建設課)

## 山本開作排水路改良工事完成



## 行事メモ

- 2月5日 児童手当費支払
- 2月下旬 民生児童委員会
- 2月中旬 〓民生委員による学校訪問
- 2月中旬 町職員同和研修会
- 2月中旬 同和地区行政懇談会